

教育民生

度中に完了する予定である。

◎議案第18号

質 平成26年度四街道市障害者就労支援センター事業特別会計予算について、就労支援センターを利用したいという人の中でも、洗濯業務は敬遠する人が多いが、事業を見直す考えはないか。

答 洗濯業務は就労支援センターの主たる科目のため、容易に変更はできませんが、新規事業については検討を始めている。

◎議案第20号

質 平成26年度四街道市介護保険特別会計予算について、施設が不足している状況と思うが、新年度の状況についてどのようになっているか。

答 介護老人福祉施設は昨年8月に定員29名のリバーサイドが開所した。新年度には、定員90名の広域型施設が開所する予定である。



新総合計画調査特別委員会

質 循環型社会の推進の中で、リユース拠点施設整備の検討とあるが、リサイクルセンター等の整備を組み入れることはできないか。

答 現クリーンセンター内にある粗大ごみ処理施設の機能を維持させながら継続操業することを基本と考えていることから、リサイクル施設の建設は設定していない。また、リユースプラザの設置は、運搬コストの節減になることから、粗大ごみの中間処理を行っている現クリーンセンター内が望ましいところであり、継続操業の話し合いの最中であることや、協定書において施設の変更をする際は自治会の同意をいただくことが明記されていることから、言及していない。

予算審査特別委員会

3月17日から25日のうち5日間、予算審査特別委員会を開催し、「議案第15号 平成26年度四街道市一般会計予算」

を審査しました。審査は、常任委員会の所管ごとに区分して、会派ごとに質疑を行います。17日は環境経済常任委員会、19日は建設常任委員会、20日は教育民生常任委員会、24日は総務常任委員会の所管に関する質疑、25日は総括質疑として、予算全般に関わる事項について質疑が行われました。

通告のあった総括質疑の項目については次のとおりです。
△総括質疑項目▽

○平成26年度当初予算における各部ごとの各種計画策定事業の本数と委託金額、総計。また、それらの計画策定事業の整理・廃止・統合は本予算に反映されているものがあるか。

○クラウド導入などのIT化推進、指定管理者導入拡大などにより、事務の外部委託・効率化が図られる一方で、再任用の拡大、定員の維持で、大幅な人件費拡大が避けられないが、当初予算でどのような工夫が図られているか。また、今後の人件費縮減の見通し、取り組みについて。

○ファシリティマネジメント

の推進、公共事業白書の策定により、庁内各部においても、施設管理において、こうした意識が浸透してきたものと思われるが、当初予算において、ファシリティマネジメントの成果が反映されたものはあるか。

○使用料・手数料の改定についての検討状況及び今後への対応。

○未納、滞納を減らすための関係各課との連携。

○光熱水費の削減のための施策。

○シルバー人材センター事業への協力。

○臨時職員の処遇改善。

○住みよい豊かなまちづくり推進基金の積み立て理由と具体的な用途。

○26年度予算案は編成方針を反映した、満足すべきものか。

○ここ数年は特定財源に恵まれ予算規模が膨らんでいるが、今後の見通しはどうか。一方、自主財源は伸び悩みどころか目減りすると思われるが、中長期見通しは、どのようなものか。

○財源の確保について万全の取り組みをしているか。

○「未来創造プロジェクト」とは何か。「子育て」、「シティーセールス」、「住環境」の3ジャンルに渡り多数の事業が対象とされているが、26年度の予算総額、27年度以降の増減額見込み、中長期でみた投資対効果をどうみるか。

○人的資源・人材について見解を伺う。「次代を担う四街道っこの育成」、「それを育むべき人たちの教育指導」、「市民サービスを支える人材、特に安心安全に関わる専門分野のプロの確保と育成」、「市民力・地域力、シニア・シルバークラスの活用」について、どれだけの予算措置がされているか。

※紙面の都合上、答弁はホームページの市議会議事録を参照下さい。

